

(2) 学習プリントの活用の効果

表2は、事後に、「学習プリントの活用に対する生徒の評価」(調査④)を4段階で調べ、段階4と3を選んだ生徒の割合を示したものである。

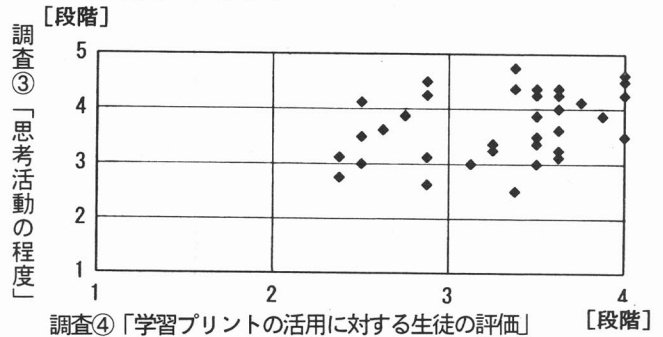
表2 調査④「学習プリントの活用に対する生徒の評価」

次の項目について、あなたの気持ちにもっともあてはまる段階をそれぞれ選んでください。	
4 : とてもよくあてはまる 3 : あてはまる	
2 : あまりあてはまらない	
1 : まったくあてはまらない	
1 自分のペースで学習を進めやすい。	82%
2 学習の流れを把握しやすい。	84%
3 安心して学習を進めることができた。	84%
4 学習プリントの中に、自分がどれくらい考えたかを知る問いがあると、自分がどれくらい考えたかを知ることができる。	82%
5 学習を進めるとき、自分がどれくらい考えているのかを知ることが、学習を進めるうえで役に立った。	92%
6 深く考えるようになった。	89%
7 蛍光灯のしくみやはたらきを理解しやすい。	89%
8 学習プリントを使って予想を立てる方法は、蛍光灯のしくみやはたらきを理解するうえで役に立った。	89%

この結果から、80%以上の生徒が、学習プリントの活用に対して、高く評価していることがわかった。

図4は、学習プリントの活用に対する生徒の評価の全項目の平均と思考活動の程度との関係を示したものである。

図4 学習プリントの活用に対する生徒の評価と思考活動との相関図



学習プリントの活用と思考活動の程度の間には、かなりの相関(相関係数0.43)がみられた。

このことから、思考活動の段階にそって思考できるように工夫した学習プリントの活用は、思考活動を活発にすることがわかった。

(3) 蛍光灯回路展開板を活用したプリント学習に対する効果

表3は、関心・意欲の程度、思考活動の程度、事後テスト成績、それぞれと、蛍光灯回路展開板の活用と学習プリントの活用という2つの具体的方策との間の重相関係数を示したものである。

重相関係数は、ある1つの変数に対し別の2つ以上の変数との相関をみる場合に算出し、相関の有無は、相関係数と同じく判断できる。

表3 関心・意欲等と具体的方策の重相関関係

	蛍光灯回路展開板相関係数	学習プリント相関係数	蛍光灯回路展開板を活用したプリント学習の重相関係数
関心・意欲	0.45	0.29	0.57
思考活動	0.56	0.41	0.65
テスト成績	0.41	0.32	0.45

関心・意欲の程度、思考活動の程度、事後テスト成績に対する2つの具体的方策の、それぞれの相関係数よりも、2つの具体的方策を総合した重相関係数が、高いことがわかった。